



瓦版 三和子C P A事務所

3・11から半年、9・11から10年

昨日は15夜、秋の月が静かに輝く一方で、末広町では、まだチラホラと蝉の声が夏を惜しむように聞こえてきます。この数日の暑さに少しバテ気味の私ですが、皆さんはお元気でお過ごしでしょうか。

あの震災から半年、そして一昨日はアメリカの同時多発テロから10年という日でもありました。日常の中で薄れゆく記憶を、忘れてはいけない。あらためて、そんな気持ちで仕事をした昨日でした。



悲惨な出来事を、ただ覚えているだけではなく、自分自身の日常の中で、できることを見つけて行動していきたいと思っています。

10年前を振り返る～忘れないために～



10年前の今頃、21世紀になった年、皆さんは何をされておりましたか？

私は、主婦ながら大学院生と公認会計士の受験生をしていました。必死に勉学に励む一方で、留学生と富士登山をしたり、浴衣を着せて花火を見に行ったりしていたことが思い出されます。いつか離

三和子C P A事務所は、町内の事業所として、地域に町内にどんな貢献ができるのか常に考えています。皆様のご意見をお聞かせください。

葵区末広町67-2 三和子C P A事務所
公認会計士・税理士 白鳥三和子
TEL 054-374-5087

れ離れになる異国の友人と、日本の静岡で思い出を一緒に作りたい。いつも、そんな願いのような祈りのような思いだった気がします。

テロの様子を見聞きしながら、価値観の違う留学生たちと、よりいっそう認め合う関係になりたいと強く思いました。価値観の違う相手を認めず、従わせようとする心がテロのような争いになってしまうと思ったからです。

そんな私の心の様子が、相手に伝わっていたかどうかは定かではありませんが、帰国した子、日本で働いている子、結婚した子等、離れ離れになりましたが、今でも良い友人関係が続いています。



事務所を1階に移転しました

工事中、ご近所の皆様には騒音などでご迷惑をおかけいたしました。お陰様で、工事も終わり、先月無事に2階から1階へ事務所の移転ができました。ありがとうございました。

何かの機会に、ぜひお立ち寄りください。

皆さんの顔と名前を覚えさせてください

必ず来ると言われている東海大震災。災害時には、地域の方たちと協力し合わなければ生きていけません。

ところが・・・昨年5月末に引っ越してきて、まだまだ町内の方の名前と顔を十分に覚えていません。皆さんが長く住み慣れた末広町の様子を教えてくださいたい。顔と名前を覚えさせてくださいたい。

そこで、この瓦版を発刊し、定期的に町内の皆さんを訪問させていただくことにしました。どうぞ、お見知りおきを願いたします。



左イラスト

ガーベラ（三和子C P A事務所のイメージフラワー）

花言葉：「希望」「常に前進」

三和子C P A事務所は、町内の事業所として、地域に町内にどんな貢献ができるのか常に考えています。皆様のご意見をお聞かせください。

葵区末広町67-2 三和子C P A事務所

公認会計士・税理士 白鳥三和子

TEL 054-374-5087